

〔半紙 4年生〕

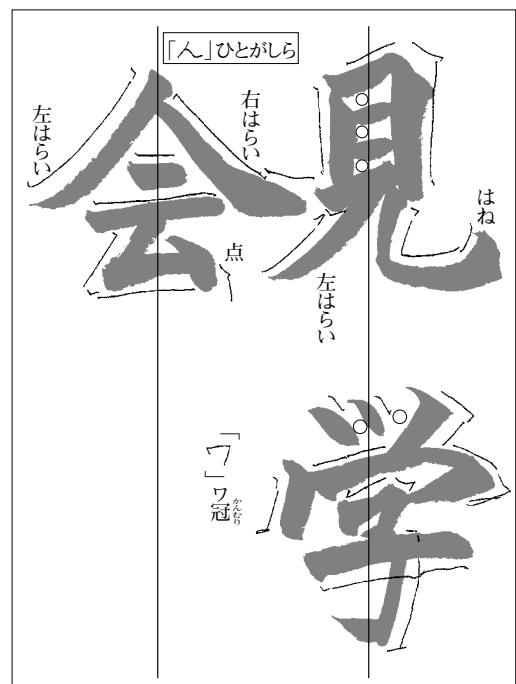
見学 会

石橋鯉城先生書

見学会
教室
名前

☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。ていねいに書きましょう。

てほん
手本のならいかた



○広さに注目

4年生

ここに注意

ねらい

★姿勢・執筆で正し、筆運びの要領をつかみ、リズムカルに文字を書く。

学習のポイント

見…「目」の部分は細長く書きますが、下の「儿」を書くときには、上の「目」を支えるので、弱くならないようにしましょう。最後のはねのところでは抑えずとめて、腕と鋒を上げて方向を決め、鋒先を整えながらはねます。

学…「子」がしっかりと書けるようにしましょう。

「ㄣ」「一」については、それぞれ点やはねの大きさと方向を考えて書きましょう。

会…中心を考えて、「へ」の左右のはらいを大屋根のようにしっかり書きましょう。

〔半紙 5年生〕

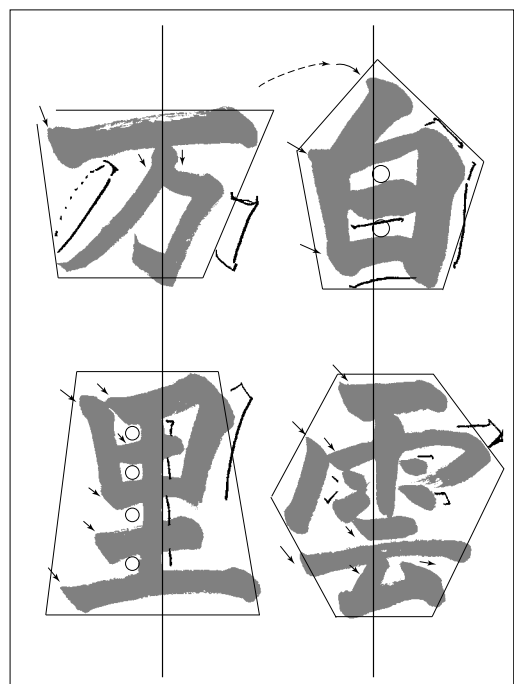
白雲万里

石橋鯉城先生書



☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。ていねいに書きましょう。

てほん
手本のならいかた



○広さに注目

5年生

ここに注意

ねらい

★毛筆による表現力の向上を目指して

学習のポイント

山を越えて白い雲が飛んでいる景色のように、
明るく書こう。

・上の「白」と「万」を書くときは、半紙を引いて、
書きやすい状態にして書こう。

・「万」はぬり絵をしないで体の動きの反動で、
「ノ」を切れ味鋭く書こう。

・「白」を書くときは、体を前に倒した反動で書
こう。他の字の場合も同じです。

〔半紙 6年生〕

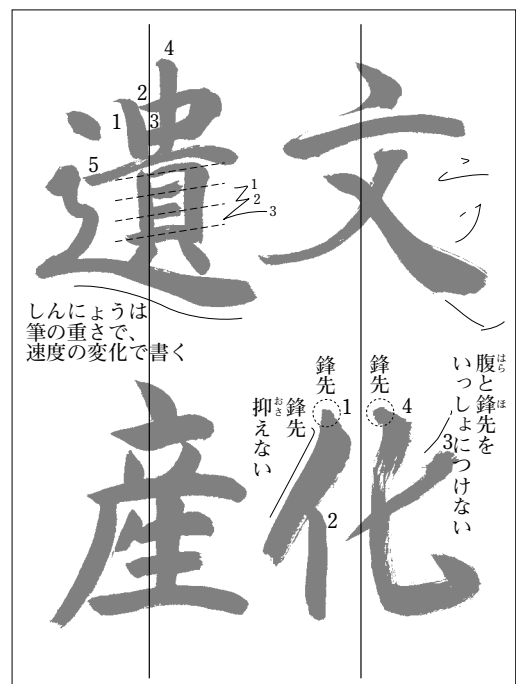
文化遺産

石橋鯉城先生書

教室 遺文 名 前 産化

☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。ていねいに書きましょう。

てほん
手本のならいかた



6年生

ここに注意

ねらい

★行書表現への移行

やさしい行書(楷書にちかい行書)の練習

学習のポイント

文:一画めですっきりと中心をとり、左右の
らいをバランスよく。

化:起筆の入り方に注意しよう。

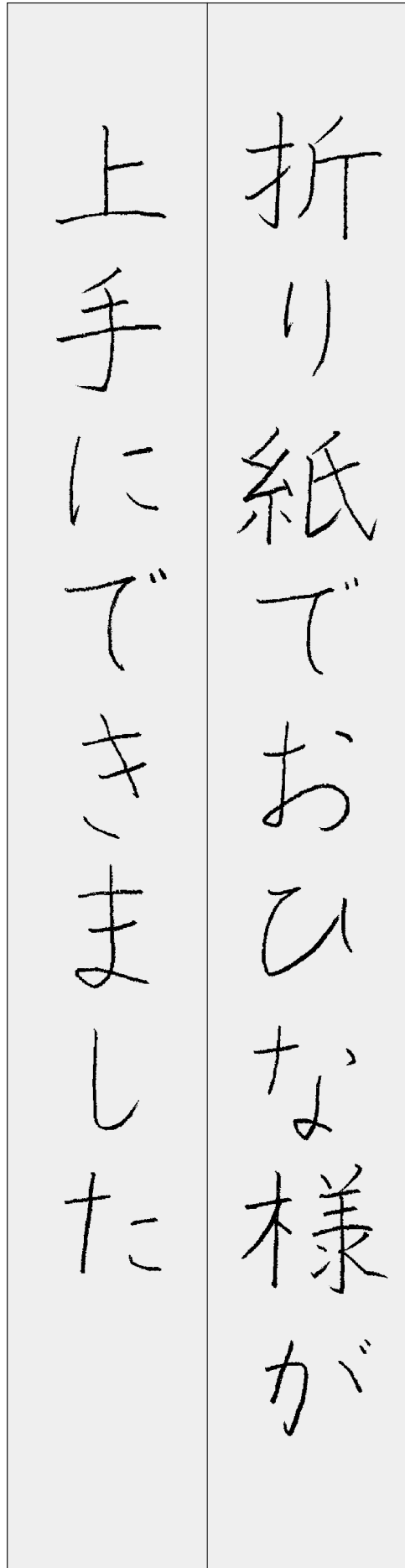
遺:横画はやや右上がりに、間隔を等しくしま
す。しんによは筆の重さを利用して、速
度の変化で書いてみましょう。

産:「産」はへん平に。「生」の中心は中心線の
やや右よりにします。

〔硬筆 4年生〕

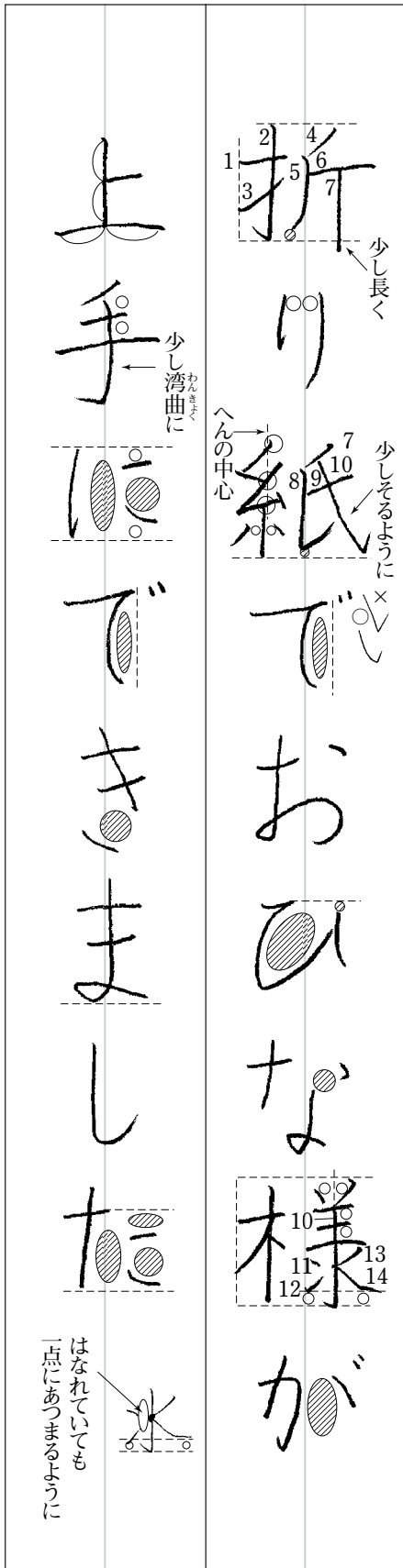
折り紙でおひな様が上手にできました

倉島須美子先生書



☆書く前によく手本を観察しましょう。 ☆筆順や文字の組み立て方、文字の大きさや配列に気をつけて書きましょう。
 ☆名前も作品の一部です。漢字で、ていねいに書きましょう。

てほん 手本のならいかた



※上をそろえた書式で書いています。
 ※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。

○同じ広さ ●あきに注意

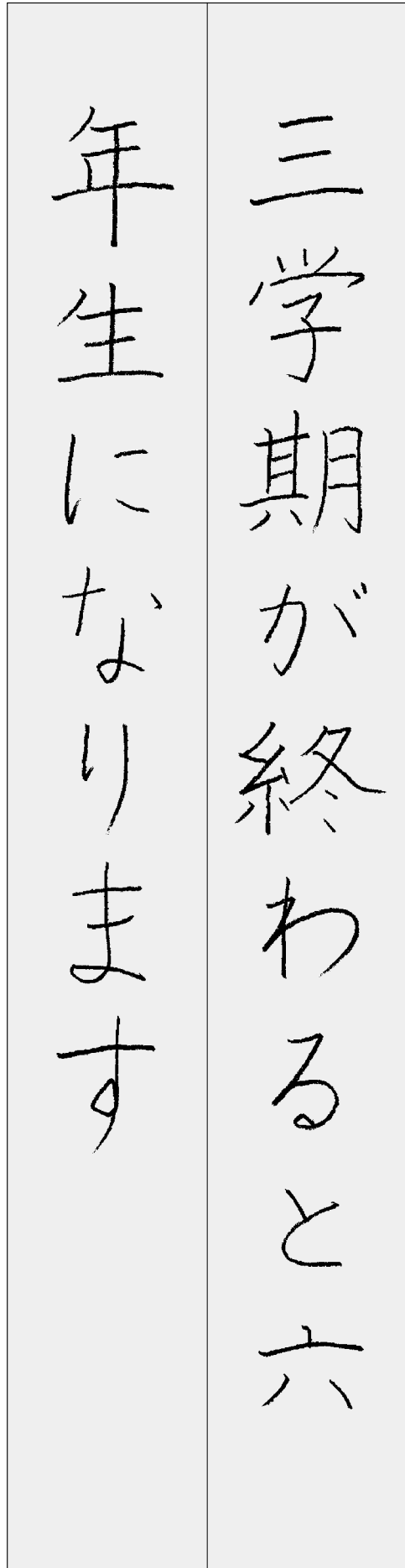
※算用数字は筆順の一部を示しています。
 ※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

小学校の硬筆は鉛筆が中心ですからなるべく鉛筆で書くようにしましょう。

〔硬筆 5年生〕

三学期が終わると六年生になります

倉島須美子先生書



☆書く前によく手本を観察しましょう。 ☆筆順や文字の組み立て方、文字の大きさや配列に気をつけて書きましょう。
 ☆名前も作品の一部です。漢字で、ていねいに書きましょう。

てほん 手本のならいかた



※上をそろえた書式で書いています。
 ※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。

○同じ広さ ●あきに注意

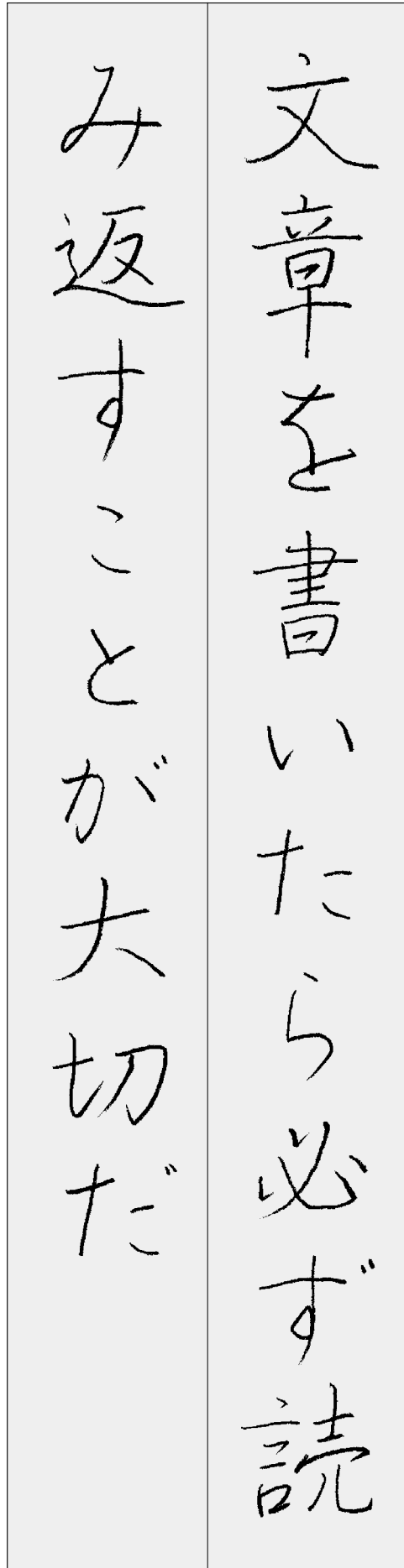
※算用数字は筆順の一部を示しています。
 ※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

小学校の硬筆は鉛筆が中心ですからなるべく鉛筆で書くようにしましょう。

〔硬筆 6年生〕

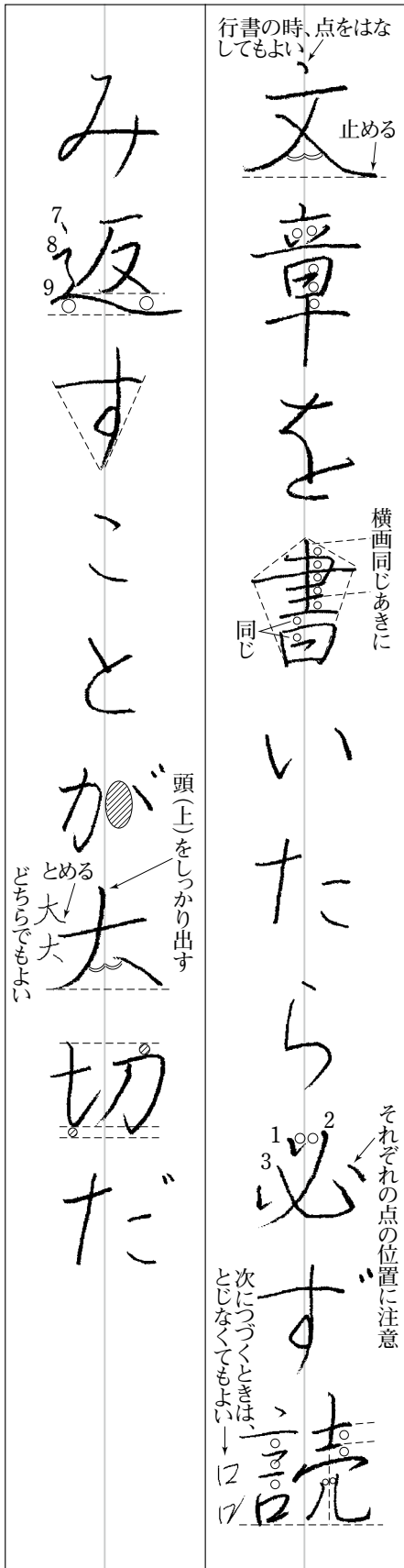
文章を書いたら必ず読み返すことが大切だ

倉島須美子先生書



☆書く前によく手本を観察しましょう。 ☆筆順や文字の組み立て方、文字の大きさや配列に気をつけて書きましょう。
 ☆名前も作品の一部です。漢字で、ていねいに書きましょう。

てほん 手本のならいかた



※上をそろえた書式で書いています。
 ※伝統的な毛筆表現にならって句読点を省いています。
 ※中高版への移行を考えて、行書のお手本を示しています。

○同じ広さ ●あきに注意

※算用数字は筆順の一部を示しています。
 ※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

小学校の硬筆は鉛筆が中心ですからなるべく鉛筆で書くようにしましょう。

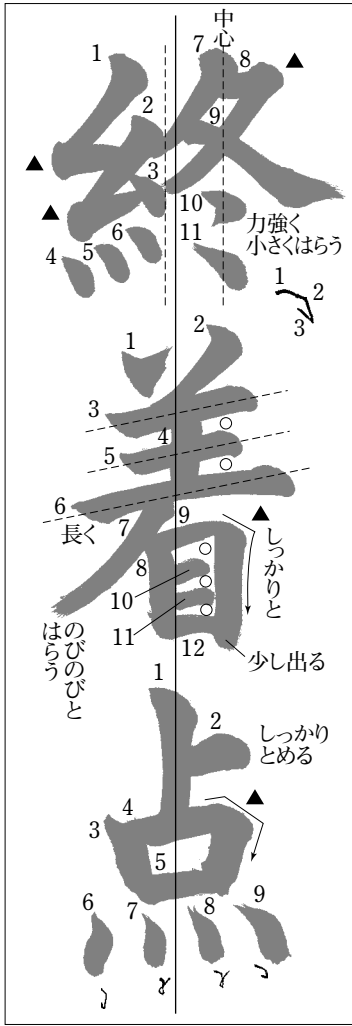
〔糸幅4年生〕

終着点



小久保嶺石先生書

てほん
手本のならいかた



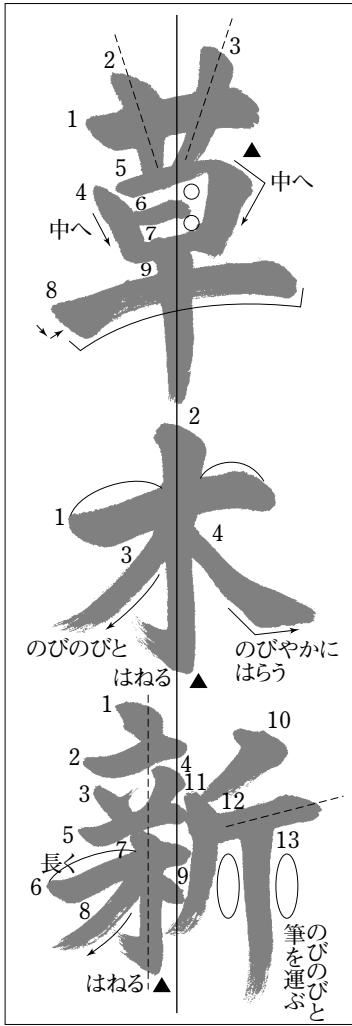
▲止めて方向を変える ○広さに注目

ここに注意 4年生

- 一点一画を力強く。元気よく書いてみます。
- 終…「糸」(いとへん)は右へ出すぎないように。四・五・六画めの点をしっかりと。十一画めの点は123のリズムで書く。
- 着…三・五・六画めの横画の長さに注意し、間かくは空けないでつめる。
- 点…二画めをしっかりと。六〜九画めの点はそれぞれ力強く。

※書く前にじっくりと手本を見ましょう。
 ※糸幅の作品は、墨を大事に使い、起筆、送筆、収筆のリズミカルな表現が大切です。体全体を使って、書き順を覚えて、のびのびと書きましょう。
 ※線の太い細いや、字の大きさなど、全体の流れに気を付けて書きましょう。

てほん
手本のなにかた



▲止めて方向を変える ○広さに注目

ここに注意 5年生

- 草：横画の多い文字です。横画の長さ、間かくをよく見て書く。
- 木：画数の少ない文字です。一点一画それぞれ力強く。二画めは力強く引きおろしてはねる。(とめてもよい)
- 新：へんは横に広がりすぎないように、つくりとの調和をとるようにする。

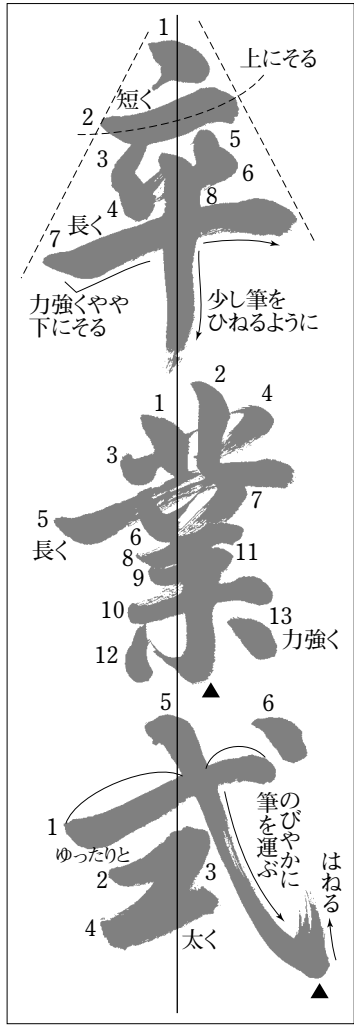


〔条幅5年生〕
草木新

小久保嶺石先生書

- ※書く前にじっくりと手本を見ましょう。
- ※条幅の作品は、墨を大事に使い、起筆、送筆、収筆のリズミカルな表現が大切です。体全体を使って、書き順を覚えて、のびのびと書きましょう。
- ※線の太い細いや、字の大きさなど、全体の流れに気を付けて書きましょう。

てほん
手本のなにかた



▲止めて方向を変える

ここに注意 6年生

- 行書で書く。運筆のリズムを大切にす。点画の省略や、連続を観察して書く。
- 卒…三〜六画めの画は連続する。七画めは長くのびやかに。
- 業…五画めの横画は長くのびやかに。八・九・十画めの横画の間かくはつめる。
- 式…五画めは、のびやかに筆を運び、力強くはね上げるとよい。



卒業式
〔条幅6年生〕

小久保嶺石先生書

- ※書く前にじっくりと手本を見ましよう。
- ※条幅の作品は、墨を大事に使い、起筆、送筆、収筆のリズミカルな表現が大切です。体全体を使って、書き順を覚えて、のびのびと書きましょう。
- ※線の太い細いや、字の大きさなど、全体の流れに気を付けて書きましょう。